

国土交通省 独立行政法人評価委員会（第10回）議事要旨

1.日 時：平成19年8月22日（水）14：00～15：30

2.場 所：国土交通省共用会議室2A・B（中央合同庁舎2号館低層棟）

3.出席者：別紙のとおり

4.議 題

- ① 委員長、委員長代理の選任
- ② 中期目標の期間における業務の実績に関する評価
- ③ 中期目標期間終了時の独立行政法人の組織及び業務の検討について
- ④ その他報告事項

5.議事概要

■冒頭、国土交通省田中政策統括官より挨拶

■議事

- ① 委員長、委員長代理の選任
委員長には、大学評価・学位授与機構長の木村孟委員が再任された。
委員長代理には、一橋大学学長の杉山武彦委員が再指名された。
- ② 中期目標の期間における業務の実績に関する評価
昨年度第1期の中期目標期間が終了した法人（自動車検査独立行政法人、自動車事故対策機構）について、中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の審議を行ったが、分科会より報告された案に対する特段の意見はなかった。
- ③ 中期目標期間終了時の独立行政法人の組織及び業務の検討について
今年見直し対象である6法人（鉄道建設・運輸施設整備支援機構、国際観光振興機構、水資源機構、空港周辺整備機構、海上災害防止センター、都市再生機構）について、事務局より見直し素案の概要を説明。
分科会より報告された案に対する特段の意見はなかった。

④ その他報告事項

事務局より、委員長懇談会が9月に開催される予定であることを報告。

また、これまで実施してきた評価について各委員から以下のとおり意見があった。

- 見直しにあたっては、民営化、廃止だけではなく、もっと違う切り口があるのではないか。
- 今年3月に策定された評価の基本方針の判断基準に係るガイドラインについて、すべての分科会で本当に徹底されているのか。
- 実績を残すことだけが評価されがちだが、定常的に業務を行っていることに対する評価をもっとするべきではないか。
- 評価作業のためのコストについて見直すべきではないか。
- 業績勘案率について、1.0を基本とするという画一的な運用はおかしいのではないか。
- 事故対応の業務を行っているところについては、事故が生じた際、いかに被害を最小限にすることができるような体制・技術を普段から整えているかということが評価されるべき。
- あまりに細かい中期計画だと、独法が何の業務をやっているのか分からなくなる。他省庁の中には項目が多くならないよう工夫しているところもある。

※ 速報のため事後修正の可能性有り

【問い合わせ先】

政策統括官（政策評価担当）付政策評価官室 日原・落合

電話：03-5253-8111（内線53402・53413）

FAX：03-5253-1674

第10回国土交通省独立行政法人評価委員会委員出席者名簿
(敬称略)

委員	木村 孟	大学評価・学位授与機構長
//	杉山 武彦	一橋大学学長・大学院商学研究科教授
//	家田 仁	東京大学大学院工学系研究科教授
//	石津 寿恵	明治大学経営学部准教授
//	後 千代	愛知大学経営学部准教授
//	來生 新	横浜国立大学副学長
//	黒田 勝彦	神戸大学名誉教授、神戸市立工業高等専門学校校長
//	佐伯 浩	北海道大学総長
//	杉山 雅洋	早稲田大学商学学術院教授
//	大聖 泰弘	早稲田大学大学院創造理工学研究科教授
//	高橋 保	京都大学名誉教授、(財)防災研究協会理事
//	千野 境子	産経新聞社論説委員長
//	西川 孝夫	首都大学東京名誉教授
//	福井 康子	都市経済研究所主任研究員
//	藤野 正隆	東京大学名誉教授
//	松尾 稔	名古屋大学名誉教授、(財)名古屋都市センター理事長
//	山下 友信	東京大学大学院法学政治学研究科教授
臨時委員	浅野 正一郎	国立情報学研究所教授
//	浅見 泰司	東京大学空間情報科学研究センター教授
//	大内 学	元全日空システム企画(株)顧問